

12月定例会において
「所管事務調査報告」
が行われました。

総務・経済常任委員会は9月定例会以降、所管事務調査を2回にわたり開催し、12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第7回 10月24日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
・発注工事について（現地調査）
- 産業経済課
・町有林の現況について（現地調査）

第8回 11月24日開催
総務・経済常任委員会

- 建設水道課
・水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について
- 病院事業
・国民健康保険病院事業会計及び介護老人保健施設事業会計の上半期収支状況について

病院事業改革プランを策定へ

地域包括ケア構築に向けて経営の安定化を目指す



改革プランを策定する国民健康保険病院

「所管事務調査報告」

国民健康保険病院
事業会計及び介護
老人保健施設事業
会計の上半期収支
状況について

国民健康保険病院事業会計については、患者数の伸び悩み・新規看護師の確保等、課題は山積となっているが、上半期の収支状況は黒字を維持し経営努力が

伺える。福島方面の医療バス継続や在宅医療の充実等を考慮した「新改革プラン（今年度中に策定）」に添って今後とも安定した事業運営に取り組まれない。

介護老人保健施設事業会計においては、入所者数の減少による収入減が経営を圧迫しており、病院事業同様に「改革プラン」を作成する中で、運営形態の変更も検討されている

発注工事の現況について

町の発注工事、計6箇所の現地調査を行

と報告を受けた。今後の収支状況についても、企業債の償還もあり資金不足が予想されるため、「改革プラン」を早期に作成し新たな運営形態により、健全かつ安定した運営での再出発を期待する。両施設とも今後の「地域包括ケア」構築には、必要不可欠な施設である。木古内町の福祉において最重要施設であることを念頭に置き「改革プラン」の策定に努められたい。

と報告を受けた。そのなかで、地域住民が長年切望していた「釜谷多目的集会所施設（釜谷ゆうなぎ館）」は、みんなに喜ばれる施設として完成した。施設を見るなかで、机・イス収納場所の壁へのキズ防止策として板の貼付等、何点か追加施工すべき点はあるものの、改善は可能であるとの報告も受けている。

今後の施設の有効活用について、町内会活動はもとより、地域の声を取り入れた様々な福祉活動等に利用されることを期待する。